

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができている。
- 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけることができている。
- 事実と感想、意見などとの関係を、叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することに課題がある。

【算 数】

- 台形の意味や性質について理解している。
- はかりの目盛りを正しくよむことができている。
- 数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えることが課題と見られる。

【理 科】

- 水が氷に代わる温度を根拠に、オホーツク海の氷の面積が減少した理由を予想し、表現することができている。
- 「水は温まると体積が増える」を根拠に、海面水位の上昇した理由を予想し、表現することができている。
- 顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能に課題が見られる。

2 児童質問紙に関する結果の概要

- 友人関係に満足し、困りごとや不安があるときにはいつでも先生に相談できると感じている児童が多く、安心して学校生活をおくることができている。
- 学校生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めることができる。
- 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいることに課題がある。

3 評価と今後の取組

(1) 教科に関する取組

- ① 効果があった取組
 - ・働き方改革による教材研究の時間の確保
 - ・担任外教師と協働した補充学習の実施
 - ・定着が不十分である内容の全職員での共通理解と重点的指導
- ② 今後の学力向上に向けた取組
 - ・表現や交流活動を位置付けた授業づくり
 - ・算数科における反転学習・自由進度学習等の学習形態の多様化による効果的な実施
 - ・AIドリルを活用した個別学習の充実
 - ・モジュールタイムにおけるAIドリルを利活用した学習の充実

(2) 児童質問紙の内容に関する取組

- ① 効果があった取組
 - ・個に応じた目標設定と振り返り活動の充実
 - ・地域の「ひと・もの・こと」を活用した探究的な学びの充実
 - ・子ども主体の学級活動、協働できる行事の取組
- ② 今後の学力向上に向けた取組
 - ・通信や集会等を用いた家庭との連携・協力体制の強化